

POLICY
01

子ども支援を惜しまないまちへ

～出産から教育まで“切れ目ない支援”を本気で実現～

- ▶不妊治療費の助成（交通・宿泊費）など、経済的負担の軽減
- ▶病児保育の拡充で、働く親を支える体制を整備

POLICY
02

物価高でも安心して暮らせるまちへ

～生活インフラと暮らしの支援～

- ▶子育て世帯の住まい支援
- ▶家計応援の電子マネーポイント還元キャンペーンを実施

POLICY
03

ともに支える、いのちの現場

～医療・介護・保育の担い手を守る～

- ▶市と医療・福祉現場が連携して人材確保に取り組む
- ▶奨学金返還支援や、地元就職報奨金の創設

POLICY
04

市民の声が届く、市政へ

～若い力が、まちを動かす～

- ▶議会の議論や政策決定をわかりやすく可視化・発信
- ▶市民と定期的に意見交換できるミーティングの開催

POLICY
05

中野の農業を次世代へ

～地域の食と未来を守る～

- ▶若手就農者が定着しやすい環境（住まい・機械・研修など）を一体的に支援
- ▶農業インターン制度やマッチング制度で「始めやすく・続けやすく」

子どもファースト、中野。

現役世代に安心と希望を



あべ一真 PROFILE

プロフィール

- ▶中野市竹原に生まれ・看護師歴20年
- ▶看護師免許 ▶はり師・きゅう師免許
- ・平岡小学校(現・高社小)・高社中学校・須坂東高等学校卒業
- ・佐久総合病院看護専門学校卒業、看護師免許取得
- ・北信総合病院にて内科・外科・小児科病棟に勤務
- ・信州スポーツ医療福祉専門学校卒業、はり師・きゅう師免許取得
- ・埼玉医科大学 東洋医学診療科 研究員として活動
- ・大手前大学(通信)現代社会学部に入学
- ・政治・経済・法律を学ぶ現役学生、7歳の子を育てる一児の父



「この地域はこの先どうなるのだろう。」

医療・介護の現場で働くなかで抱いた、その不安こそが私が政治に向き合う原点です。現場の声を政治につなぐ存在が必要だと強く感じました。対決ではなく解決を優先し、子どもや孫が誇れる信州中野を残すため、私は市民のみなさんと対話を重ね、その声を一つひとつ確かな政策にしていきます。未来を守る行動を、今この中野から進めていきます。

国民民主党

Democratic Party For the People

公認



あべ一真

あべ 一真 41歳

中野市議会議員一般選挙公報掲載文原稿用紙

	受付日時
	受付番号
	字 数
	受付者

熱意と機動力・現場第一!

皆さんと共に、地域の課題に
全力で取り組みます

- ① 基幹産業「農業」の振興と発展により、持続的に稼げる元気な地域づくり、スマート農業、荒廃農地および鳥獣害対策の推進、新規就農・移住・定住を促進します。
- ② 人口減少時代の、地元経済と地域活動の活力増強対策に取り組みます。
- ③ 歴史・観光・文化と緑のふれあう拠点として、東部地域一帯の環境整備に努めます。
- ④ 頻発する自然災害に強い地域づくりのために、治山治水対策をはじめ生活道路の整備を促進します。
- ⑤ 若者の子育てと結婚支援、子供たちのにぎやかな声とお元気な老人がかっ歩する安全・安心・健康な地域づくりを目指します。

— ご支援よろしくお願い申し上げます —

プロフィール

- 須坂高校・千葉大学園芸学部卒
- 元・長野県農業委員会協議会会長
- 元JA中野市青年部委員長
- 現・南部えのき茸培養センター代表理事
- 元・中野市消防団第2分団長
- 現・中野市議会議員(2期)
- 元・中野市農業委員会会長
- 現・中野市監査委員

農・商・工と暮らしに貢献します



中村ひびく

なかむら

秀人

あなたとともに、 地域のつながりを取り戻すために～ 誰も孤立させない中野市へ

高齢化と人口減少が進む中野市で、まず守るべきは、「誰もが安心して日々の暮らしを続けられる環境」ではないでしょうか。市政には、その暮らしの基盤をしっかり支えることが求められています。

一方で、美術館などの大型公共施設の建設には、建設費に加えて長い年月にわたる維持管理費が必要になります。将来の市民のみなさんに過度な負担を残さないためにも、こうした事業は丁寧に検討していくことが大切だと考えています。

1 地域のつながりを取り戻し、誰も孤立させないために

コロナ禍で弱くなってしまった地域のつながりを、もう一度あたたく結び直したいと考えています。子ども食堂や居場所づくりなど、地域の優しさを広げる取り組みを、議会の立場からしっかり支えていきます。

☆多様な市民が「ここにいていい」と思える
コミュニティを育てたい

2 子どもから高齢者まで、安心して暮らせる仕組みを

子育てから介護まで、どの世代も安心して暮らせるよう、必要な支援がきちんと届く市政をめざします。

私の思い

3 行政の透明性を高め、市民が尊重される市政へ

市民のみなさんの声を丁寧に受け止め、情報公開を進めながら、納得できる市政運営が行われるよう取り組みます。

地域の安心から、世界の平和へ。そんな願いも胸に、歩んでいきます。



まつき純子